

Welcome! miyaki

みやき町 観光マップ

風天山

綾部八幡神社の宮山として親しまれており約500本のサクラが植えられています。満開を迎える春には頂上まで提灯が灯り、桜色に染まった風天山に多くの花見客が訪れます。



風の館

風をイメージした建物で、館内には展示コーナーがあります。町内外のアート作品を半月ずつ展示し、多くの来館者で賑わいます。



綾部八幡神社

元久2年(1205年)鎌倉の鶴岡八幡の分霊を勧請し、東肥前の鎮護の神として尊拜するために創建。また風の神様を祀る神社として有名で、御神木に麻旗を掲げて天気を占う無二の神事が現在も行われており、日本最古の氣象台と言われる所以を持つ神社です。



西乃宮八幡神社

長徳2年(996年)に建立された神社です。武将の崇敬が厚く「八幡神社御由緒志」には足利氏・少武氏・横岳氏などが戦勝祈願のため奉納を行っていたと記されています。入口にある3mの肥前鳥居は町の重要文化財に指定されています。



江見八幡神社

永禄11年(1568年)に龍造寺隆信が祈願のため社殿を再建した記録があり、境内にある肥前鳥居には慶長16年(1611年)の銘があることから建立から400年以上の古い歴史を持つ神社であることが分かります。



矢俣八幡神社

元慶2年(878年)坂口村開平に八幡宮を勧請したと言われており、元和2年(1616年)に現在の場所に移転しました。テレビ等でよく取り上げられる「道の真ん中にある鳥居」があり、珍しい風景として有名です。



宇佐八幡神社

弘仁2年(811年)豊前の宇佐八幡宮の御神霊を勧請して建てられました。足利尊氏が九州に来た時、尊氏方の武将が参拝し、勝利を祈願して鳥居を奉納したと言われています。



ハートの水盤

町内6か所にハートの形をした不思議な水盤があります。日本の意匠でハートの形は「猪目」と言い魔除けに用いますが水盤が置かれている場所が観音堂や天満宮であることから信仰のために用いたのではないかと推測されています。詳しくは別刷の「みやき町ハートマップ」をご覧ください。

名物 綾部のぼたもち

祝いのぼたもちとして知られる綾部のぼたもち。幸福を招き、家内安全の御利益があると言われており、綾部八幡神社の参道で販売されています。



中津隈宝満神社

中津隈宝満神社は、古墳・城址・社殿が一つの場所にある珍しい神社です。火事のため古い時代の社殿は消失しましたが明治28年(1895年)に再建されました。12年に一度「御幸祭」が行われ、遷宮が盛大に催されます。



寒水川山田水辺公園

脊振山系の寒水川上流にある寒水川山田水辺公園は清らかな里山の川を引き込んだ流水公園です。園内には膝の高さほどのひょうたん池があり、小さなお子さんでも安心して遊べます。夏場には県内外から涼を求めて多くの家族連れや子どもたちの歓声が上がります。



山田ひまわり園

山田地区のまちづくりグループが地域の棚田を活かした取り組みとして平成13年(2001年)より立ち上げた山田ひまわり園。棚田の保全管理をしながら少しずつ、こつこつと整備されたひまわり園は、令和2年(2020年)に棚田のヒマワリと園から望む鷹取山の鮮やかなハゼノキ景観が佐賀県遺産に認定されました。今では秋の観光名所として全国から観光客が訪れます。



鷹取山

標高403.5mの山頂には広場があり、山頂からは佐賀平野、遠くは有明海まで望め、見晴らしの良い所です。登山口から約1時間30分程度で登ることができるので格好のハイキングコースです。秋になると山麓の紅葉が楽しめます。



白石神社

文政6年(1823年)に創建され、祭神は白石初代邑主鍋島直弘公、鍋島河内守直高公、成富兵庫茂安公の御三柱です。正月のぼんげんぎょう、春に境内を彩る桜の名所があり、また秋には「茂安公時代まつり奉納流鏝馬」が行われ、大いに賑わいます。



白石焼と窯元



白石神社がある皿山地区は、かつて「西目の有田、東目の白石」と称された「白石焼」があり、佐賀二大焼き物の里と呼ばれていました。せせらぎ沿いに東屋やトイノイが見られ、時間がゆっくり流れる山あいの地に窯元が点在しています。その風情ある景観から「みやきの小京都」と呼ばれ、四季折々に訪れる人々を楽しませてくれます。

四季彩の丘みやき

小高い丘の上に立つ洋館、四季彩の丘みやきは、婚活・子育て支援・地域交流の情報発信を行っています。バラエティ豊かな体験教室や講座等を行い町内外の交流の場として利用されています。



千栗八幡宮

神亀元年(724年)肥前国養父郡の郡司壬生春成が八幡大神の御神託を蒙って一夜にして逆さに植った千本の栗の木が生えたこの地に創建したと伝えられています。肥前国一の宮の社格を持ち、146段の石段はバルセロナ五輪柔道金メダリスト古賀稔彦氏が鍛錬した場所として有名です。



市村清記念メディカルコミュニティセンター

公民連携による健康へのアプローチを、子どもから高齢者まで利用するすべての方の心と体の健康づくりに特化した多目的施設です。トレーニングジムや教室、支障事務所や飲食・販売のブースがあり各種イベントが催されます。



偉人 市村清

リコ三愛グループ創業者の市村清氏は、みやき町出身の実業家です。明治33(1900年)現在のみやき町市原地区に生まれ、十九歳で上京するまで佐賀で過ごしました。佐賀県内でもっとも日本経済の礎となる様々な事業を起し、常識の裏をかく独創的なアイデアとたゆまぬ実行力で発展しました。昭和初期から中期にかけて戦後の日本経済復興に尽くした彼は「経営の神様」と呼ばれ、彼の経営理念は三愛精神として広く受け継がれています。



持丸古民家

農家の古民家を再生し、地域交流や文化の拠点として利用されています。佐賀の田園風景が広がる中に立つ古民家からの癒しの景観は一見の価値があります。

